



◇卒業生同士の意見交換会報告◇

令和元年8月23日(金)、フクラシア東京ステーション(東京)にて「卒後ワークライフバランスについて考える会 2019年度 J-PASS ブロック担当会議」を開催しました。

医学部卒後指導委員会では、義務年限中の女性医師支援の活動の一環として「卒後ワークライフバランスについて考える会」と称し、卒業生の講演会と学生・卒業生との懇談会を行っておりますが、この会は、全国の地域ブロックにおいて女性医師支援の中心的な役割を担っていただく卒業生にお集まりいただき、今後の自治医大の支援活動について、有意義な意見をいただく場として位置付けております。今年から女性医師支援ブロック担当として委嘱をしておりますが、13期～33期までのブ



ロック担当の卒業生9名全員にご参加いただきました。始めにブロック担当9名、および学内者からこの1年の活動を報告があり、その後全体討論を行いました。



全体討論では、「今後の地域ブロックにおける支援活動の展開について」をテーマとして、ディスカッションを行いました。平成25年から各地で開催してきた各都道府県の女性卒業生の集まりも回を重ね、大学が少しずつ蓄積してきたノウハウをブロック担当と共有し、地域での活動に活かしていくことなど、終始活発な意見交換がなされました。女性卒業生の数が増加する中で、今後ますますブロック担当を中心とした地域での活動が活発化することと想われます。

今回のご意見をもとに、より良い女性医師支援の取り組みに向けて検討していきます。



【今回ご参加いただいた女性医師支援ブロック担当の卒業生】

- ・十枝めぐみ先生(香川13期) ・白石 裕子先生(島根17期) ・中村 剛史先生(静岡県21期)
- ・横谷 倫世先生(奈良21期) ・定金 敦子先生(福岡22期) ・渡邊ありさ先生(埼玉県24期)
- ・影向 一美先生(新潟24期) ・新井 由季先生(栃木25期) ・山本 智美先生(北海道33期)